東はりま甲南会報

第26号

発　行
東播磨甲南会

［事務局］
〒675-0017
加古川市野口町
良野365-11

行政書士澤本事務所
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail
sawamoto@gyosei.or.jp

コロナに負けるな!!
力を合わせて、この難局を乗りきりましょう！

こちらのQRコードから東播磨甲南会のHPがご覧頂けます

東播磨甲南会
会　長　**栗山隆博**
加古川市役所（文学部 昭和62年卒）

この度、東播磨甲南会の会長として、三宅会長の後任に指名されました栗山と申します。

前会長は、この会の設立メンバーであり、学園同窓会の運営をはじめ加古川市・神戸新聞社との連携による「知を結ぶプロジェクト」の立役者として、長年に亘り会の発展に尽力され、学生達に大きな影響を与えて来られました。

近年のコロナ禍により、総会も規模を縮小して開催してきましたが、自粛生活を経験して、改めて「集える」喜びを認識させられたところです。

会長就任にあたり、本会は学園の同窓の繋がりであり、会員の親睦はもちろんのこと、学園本部とのパイプ役を務めることや、我々OBが現役学生に対して就職する際の情報提供など社会で活躍している姿を見せることだと考えています。

微力ではございますが、東播磨の会ならではの多彩な人材が輝ける会の一助になれば幸いです。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

東播磨甲南会
名誉会長　**三宅隆宏**
有限会社共立サービス会長
（経営学部 昭和41年卒）

甲南大学リカレント教育センター「アンバサダー」の称号を賜りました。この制度、甲南大学では初めての試みで私が初代、任期は1年です。光栄で名誉なことと感謝しています。

その反面、〝何で私やねん!?〟がいまだに抜け切れません。

しかし、東播磨甲南会が同窓会組織の大きな役割〝学校への支援協力〟として7年間継続してきた『加古川「知」を結ぶプロジェクト』が任命を承った要因の一つになったことは間違いありません。会員皆さんの汗の結晶です。有り難うございます。

今回の総会で、私は当会会長を退き栗山隆博幹事長に後を託します。

今後は、アンバサダーとしてアンバサダーのミッション「リカレント教育プログラムの発展と促進に協力する」に努力致します。先ず創設者 平生釟三郎氏の教えを学び直すことから始めています。

甲南大学リカレント教育センター アンバサダー　三宅隆宏

学校法人 甲南学園
理事長　**長坂悦敬**（よしゆき）

東播磨甲南会の活気あふれる取り組みに、いつも励まされ、感謝しております。卒業生相互の親睦はもとより、甲南ネットワークの強化、7年続く『加古川「知」を結ぶプロジェクト』への支援など、まさに〝朗らかに つながる学園〟でありたいという甲南学園中期計画スローガンと一致し、学園にも多大な貢献をいただき、ありがとうございます。

私たち甲南人は、平生釟三郎先生のおしえ「共働互助」「平生フィロソフィ」を心の中心に据えて、「正志く強く朗らかに」過ごすことが如何に重要か、如何に大切かを分かって行動しています。「平生フィロソフィ」にのっとり、甲南大学は「マルチステージキャンパス」を目指し、2020年にリカレント教育センターを開設しました。「自立の時代、奉仕の時代」にある世代にむけて、「学び直し」の場を醸成することで、21世紀に求められる大学としての使命を果たしていきます。東播磨甲南会の皆さんにも参加いただけたら幸いです。

このたび、三宅隆宏会長が勇退され、栗山隆博新会長にバトンを渡されるとのこと。三宅会長の長年のご功績に心から感謝いたします。甲南愛あふれるアグレッシブな行動、笑顔に多くの甲南人が励まされてきました。これからも引き続き、ご指導ご鞭撻の程お願い致します。そして、栗山新会長のもとで東播磨甲南会がますます発展されますことを心から祈念いたします。

甲南大学 同窓会
会　長　**丹羽一郎**
内外電機株式会社
代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆さま、平素は大学同窓会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

甲南大学同窓会は、会員数が10万人を超え、多くの資産を管理するに至りました今日、任意団体のままでは今後の安定性と永続性に不安があるとの声が上がり1年以上検討を重ね、昨年2022年7月1日に法人化し「一般社団法人 甲南大学同窓会甲南会」を設立いたし順調なスタートを切ることが出来ました。「定款」に定めた通り、会員相互の親睦を通じ学校法人甲南学園及び会員相互の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することを目的とします。

2023度の活動テーマは《Get Going!甲南会～ともに進もう!～》としました。コロナ禍を越え、さらに楽しく、活発に、そして意義のある集いの場に。甲南というブランドをさらなる高みへと掲げるために、位置についた私たちは心の号砲を鳴らし、皆とともに新しい時代へと駆け出したいと思います。

厳しいコロナ禍の中、平生釟三郎先生の訓えを胸に、同窓生が力を合わせて、母校と同窓会員相互の発展に寄与していける活動を目指したいと思います。

東播磨甲南会の会員の皆さまが、栗山会長を中心に力を合わせ、貴会がますます発展されることを祈念申し上げます。

2023年総会・懇親会の開催について

日　時 ● 令和５年６月３日（土）　16時30分から（総会・懇親会）
場　所 ● 加古川プラザホテル（加古川市加古川町溝之口800）
催　し ● マリンバ奏者　黒田菜々花さん他によるシティポップの演奏
参加費 ● 5,000円

加古川「知」を結ぶプロジェクト

令和5年2月18日（土）、加古川市役所新館にて加古川「知」を結ぶプロジェクト成果報告会が開催された。

【当日の様子・参加者】

参加チームは西村ゼミ（経営学部）、望月ゼミ（経営学部）、金坂ゼミ（マネジメント創造学部）。

【発表内容】

西村ゼミは、新規顧客獲得及び地域活性化のために、「味季料理りんどう」に「あぐりんどーで育む地域の輪」を提案した。

あぐりんどーとは、アグリカルチャー（農業）と「りんどう」の名前を組み合わせた造語である。地域の人々が交流を深められる場として「りんどう」が保有する農園と広場を開放し、ファミリー層に楽しんでもらいつつ、収穫したものを「りんどう」でそのまま食べられるサービスの提案であった。

子供の食育を通じてファミリー層の地域への愛着醸成を目指しており、そこから新規顧客を獲得していくという手法は「りんどう」の目指すビジョンによくマッチしていたように思う。

講評では、地域活性化のためにどうすれば良いかを数字で見れたのが良かった。あぐりんどー広場はとても愛着のある名前で良い、分析がしっかりしていた、などの意見があった。

望月ゼミは、加古川の新たな地域活性化の案として、加古川市産業振興課様に「カフェ × 河川敷で作る新たな加古川スタイル」を提案した。これは、カフェでご飯などをテイクアウトして加古川の河川敷でピクニックを行う「おしゃれピクニック」を軸とした案であった。主に若い世代がターゲットとなっており、遊ぶ場所が限られるという加古川市の課題克服、カフェの新規需要創出、加古川河川敷の有効活用を組み合わせて地域活性化を狙った。何度も現地に足を運び、入念にヒアリングを行っていたのがとても印象的だった。

講評では、実際に加古川の街を歩いて、直に市民の方や来訪者の声を聞いていただいたのがとても大事で有意義なことだと思う。アンケート結果を受けてもう一度アンケートを取っており、これはプランニングをしていく上で重要である、などの意見があった。

金坂ゼミは、近年非常に重要なイメージ戦略について、加古川製作所様の協力のもと「若者が働き続けたい企業」をテーマに取り組み、「SNS の活用」や工場開放イベントである「オープンファクトリー」を提案した。企業と人との接点を様々なチャネルで増やし企業の魅力やブランド力の向上を狙っていく案であり、技術力の発信から若者の興味や関心の向上を狙った。近年は少子化が社会的な問題となっており、どの企業も人材の獲得のために様々な試みを行っている。まさに時事問題であり、「知」を結ぶプロジェクトならではのチャレンジだったように思う。

講評では、我々も気づかなかったことや新たな発見があり勉強になった。SNS の機能や、SNS を使った成功事例まで調べていただいて非常に参考になった、提案に具体性があって良かった、という意見があった。

本年度の最優秀賞には金坂ゼミが選ばれた。当会が独自の基準で審査を行う東播磨甲南会賞は、厳正なる審査の結果、加古川市産業振興課様のご協力のもと「カフェ × 河川敷で創る新たな加古川スタイル」を提案した望月ゼミの皆さんに授与させていただいた。審査では特に、現地へ何度も足を運んだことが評価された。

本年度は久しぶりに対面での実施ができ、また飲食は無いものの交流会も実施することができた。やはり対面の場合は独特の空気感、緊張感があり、学生も意見をぶつけやすいように思う。

東播磨甲南会のあゆみ

平成4年11月28日
東播磨甲南会設立準備会発足
名称を「東播磨甲南会」と決定

平成5年2月28日
東播磨甲南会発足（会員165）
東播磨甲南会設立総会（100名参加）
会　長　森滋郎（S10旧理）
幹　事　長三宅隆宏（S41営）

平成10年4月22日
東播磨甲南会会報第1号発行

平成14年5月18日
第10回総会

平成19年1月23日
創立15周年臨時総会
総務委員会・地区委員会・広報委員会を設置

平成19年5月1日
会報第10号発行

平成19年6月2日
第15回総会（60名参加）／創立15周年講演会

平成25年5月15日
東播磨甲南会企業訪問スタート
第1回は学校法人睦学園理事長渡邉東氏

平成25年5月26日
第21回総会
名誉会長　森　滋郎（S10旧理）
会　　長　三宅隆宏（S41営）
幹 事 長　栗山隆博（S62文）
新体制スタート。

平成27年3月24日
森滋郎名誉会長逝去

平成27年6月6日
第23回総会
ミズノ㈱ 会長 水野正人氏講演
（初めての一般参加型講演会）

平成28年6月4日
第24回総会
加古川市と甲南大学の地域連携をテーマにシンポジウム開催

平成29年1月14日
加古川市「知」を結ぶプロジェクト
～行政・大学・地域メディアによる地域課題解決～開催。

平成29年5月24日
加古川市と甲南大学地域連携協定締結

令和2年
総会は新型コロナウイルス感染症拡大により中止

令和5年6月3日
第31回総会開催

会員企業紹介

企業訪問11回目の今回は、合同会社シンプルアプリの森 正英さんにお話を伺いました。

老化を科学で解決したい

卒業年度と学部を教えてください。

平成25年度、フロンティアサイエンス学部卒です。

甲南大学を選ばれた理由を教えてください。

生命化学にとても興味があったのと、受験した時に丁度フロンティアサイエンス学部ができたばかりで、設備も新しいものが入っていたからです。実家からそこまで遠くないということもありました。

学生時代はどう過ごされましたか。また、心に残る思い出はありますか。

理系のため、学生時代はほとんど実験をしていました。フロンティアサイエンス学部は1学年40人ぐらいの少人数制なこともあって先生方との距離が近く、非常に沢山の事を教われるのが良かったです。思い出としては、在学中に科学者向けのスマートフォンアプリを開発して公開しており、これが今の自分の元となっています。

会社の事業内容について教えてください。また、会社の魅力や苦労する点はどのようなものがありますか。

合同会社シンプルアプリという神戸のベンチャー企業を友人と経営しており、私は副社長をしています。会社は先端ITを利用して医療・創薬・アンチエイジングを発展させることを目的としていまして、医療補助用人工知能の設計や各種検査の自動化支援を行っている他、化学者などの研究者向けソフトウェアなども作っています。

会社の魅力は、内外どちらから見た場合でも、新しい技術を使って世の中を変えていけるというところだと思います。苦労する点は新しい技術を扱うが故に、どんどん新しいことに対応していかないといけない所で、半年もすれば技術が激変することもある、変化がとても激しい業界です。

会社のPRをお願いします。

大学を卒業した後、神戸市で開催されたスタートアップのコンテストに同じ学部の2人で参加したら最終選考を突破し、採択されました。その時に設立した会社が今の会社です。

ちょうどコンテストも第一回目で、日本もなんとかスタートアップ、ベンチャーを育てていかなければこの先危ないという機運があり、それによって誕生した側面があります。諸外国に負けないよう頑張っていきますので、人工知能やアプリが必要そうだったり、業務に組み込む計画がありましたらぜひお気軽にお声がけください。

今後の抱負について教えてください。

2025年問題といって、日本が超高齢化社会に突入する転換点が迫っています。このままでは介護費や医療費が滅茶苦茶に上がり、お医者さんの人数も全然足りません。この問題を人工知能を含む先端技術を用いて軽減しようとしています。お医者さんに診てもらえずに困るのは高齢者に限らず、若者も同じです。良い医療を維持するためのお手伝いができるように今後も頑張りたいと思います。

また、遺伝子治療技術を使った若返りの研究も行っており、今後はこの研究に更に注力していくつもりです。老化を特殊な病気の一種として捉え、これを治療することを目指しています。

ところで、東播磨甲南会についてどういう感想をお持ちですか。また、活動に対して要望などはありますか。

近隣の卒業生が集える良い会だと思います。活動については、やっぱり加古川「知」を結ぶプロジェクトがとても良いので、微力ながらぜひ今後も協力を続けていきたいと思っています。要望というか希望になりますが、今度30周年になるということで、一度会員の皆さんにアンケートを取り、今後の会の発展のために色々調査をしたほうが良いかもしれないと考えています。最近急速に世の中が変わってきておりますし、色々模索できれば良いなと考えています。

本日はありがとうございました。

東播磨甲南会　ゴルフコンペの報告

令和4年12月2日㈮、小野ゴルフ倶楽部におきまして、参加者11名による「第14回東播磨甲南会ゴルフコンペ」を開催いたしました。

今回は、小野ゴルフ倶楽部の支配人でもあります、山本耕司さん（甲南大学ゴルフ部出身）にも参加していただきました。また、亀井岬さんも初参加という事で、世代も少しずつ変わってきたように思います。

ご年配の方からは、参加したくても体力がというお声も聞きました。少しでも若い方に参加していただき、東播磨甲南会が盛り上がればと思っています。

成績は、ダブルペリア方式で、優勝は亀井岬さん。2位山本耕司さん。3位大西信良さんでした。

今後は他の甲南会や他大学ＯＢ会とも交流コンペなどできればなと考えています。皆様のご参加、よろしくお願いします。（R・M）

東播磨甲南会 役員組織　(R5〜R7年度)

役職	氏名
顧　問	渡邉　東(S40経済)
名誉会長	三宅 隆宏(S41経営)
会　長	栗山 隆博(S62文)
副会長	大庫 良一(S54経済)※筆頭
	中尾 知也(S50法)※総務担当
	宮本 了介(H14経済)※地区担当
	松本 浩一(S49文)※広報担当
幹事長	森　正英(H26FS)
会　計	桝谷 有美(H3経営)
監　事	西尾　淳(S39経営)
	籠谷 紘義(S40経営)
同窓会本部理事	冨居 雅人(S62文)
事務局長	澤本 武司(H6理)

<総務委員会>

役職	氏名
委員長	岩﨑 泰央(S62法)
副委員長	藤原 武彦(S60経営)
	陰山 大輔(H18法)

<地区委員会>

役職	氏名
委員長	井奥 貴子(H3経営)
副委員長	丹後 昌博(S54法)
	日坂 祐介(H24経営)
	柳井 景二(H18経済)

<広報委員会>

役職	氏名
委員長	新濱 義孝(S62理)
副委員長	冨居 雅人(S62文)
	松浦 佳秀(H23文)

入会のご案内

■目　的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。

■入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。

■入会金…終身会費1万円(初回のみ)

■入会方法…総会時受付で申し出て頂くか、直接事務局へ。

■その他のご負担…総会・行事毎に参加者からその都度会費(実費)をいただきます。

■事務局
〒675-0017
加古川市野口町良野365-11
行政書士澤本事務所　澤本武司 気付

東播磨甲南会
TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail sawamoto@gyosei.or.jp

編集後記

ようやく感染症に対する厳戒態勢が少し落ち着きはじめ、イベントが平時のように開催できるようになってきた。

この6月の総会で、本会は創設３０周年という大きな節目を迎える。次の５０周年、そして１００周年を目指して、困難に負けずこれからも同窓生を繋ぐ絆を継承してゆければと思う。　(M.M)